

表彰状を練習で披露 文科省生涯スポーツ優良団体

吉岐ジュニアランナーズ



賞状を中心に写真に写る参加者

各種スポーツの基礎となる陸上競技を通して、子どもたちの健全育成と体力、競技力の向上をめざして昭和63年にスタートした吉岐ジュニアランナーズ(西雪晴代表)は、文科省生涯スポーツ優良団体として表彰された。

西代表は受賞について、「26年前に長嶋清亮先生が中心となり発足したこのランナーズが、多くの人たちの協力を得てここまでこれたことを感謝しています。この表彰を機に、気持ちも新たに一層頑張る、活動が長く続いていくことを期待しています。参加してくれている子どもたちに感謝の気持ちを伝えたい」と話した。

男女78人が出場 会長杯ソフト テニス選手権

第24回会長杯ソフトテニス選手権大会が4日、郷ノ浦町、大谷テニスコートで男女78人が出場してダブルスで行われた。大会の主な成績は次の通り。

男子▽優勝▽深見雄大・野口大介(連盟)▽準優勝▽石田町湯岳射手吉触

女子▽優勝▽寺田幸恵・小金丸久美子▽準優勝▽村上昌子・山口真優▽藤嶋光信・市岡恵子(以上、連盟)▽永岡侑華・山下眞智子(吉岐高)

工事入札
▽刈田院地区付帯Ⅱ 12,805,000円。(株)大芳建設

忌明け(敬称略)
▽郷ノ浦町麦谷触、西考春(亡母・ラク)・市社協郷ノ浦事業所、麦谷触会同人会、宇土公民館、渡良地区遺族会へ
▽芦辺町芦辺浦、坂本純代(亡夫・金敏)・市社協芦辺事業所、芦辺浦会、芦辺浦東本町町内会、吉岐ロータリークラブへ
▽芦辺町箱崎諸津触、浦川嘉勝(亡母・マイト)・市社協芦辺事業所、箱崎諸津公民館、同人会、吉岐ロータリークラブへ

慶弔
10月29日(4日) 届け出分
○おたんじょう
▽坂口蒼伊(あおい) ちゃん
▽山口晴瑠摩(はるま) ちゃん
▽祐二・大久保触
▽川村凱良(がいら) ちゃん
▽長島楓花(ふうか) ちゃん
▽賢一・釘山触
▽平田優月(ゆづき) ちゃん
▽響子・片原触
▽山口晴瑠摩(はるま) ちゃん
▽祐二・大久保触
▽川村凱良(がいら) ちゃん
▽長島楓花(ふうか) ちゃん
▽賢一・釘山触
▽平田優月(ゆづき) ちゃん
▽響子・片原触

おくやみ
▽郷ノ浦町
▽増田美恵子さん(84) 本村触
▽若村房恵さん(88) 本村触
▽八藤ハツノさん(92) 小牧東触
▽岩崎コヅルさん(86) 物触

訂正
▽前号1面、本市戦没追悼式・慰霊祭の記事中、参列者数は約500人の人の誤りでした。お詫びして訂正します。

求人情報
厚子さん、伴奏の市山昭子さんと松井ゆい子さんの名前に誤りがありました。お詫びして訂正します。

日曜営業
郷ノ浦町▽平田石油
勝本町▽町田石油
芦辺町▽川添石油▽大阪屋石油
石田町▽松屋石油

社説

iki shinpou

秋の火災予防運動は「119番の日」から

先週末は、西日本を中心に冷えて11月中旬から下旬並みの空気の冷たさの所が多くなり、土日の朝晩はこの秋一番の冷え込みになったところも多かったという。本市でも朝晩はだいぶ冷たさが意識されるようになり、上着が必要な頃になってきた。特に日曜日の夜の雨は冷たく感じられ、傘を忘れたこ

とが非常に悔やまれる程だった。季節が秋から冬に移り始めている頃とされる「立冬」が七日に過ぎたが、その日曜日の雨の冷たさに近づくと冬の足音が実感され、近畿地方では先月20日、冬型の気圧配置が強まり、冬の訪れを告げるという木枯らし一号のニュースも届いた。来年の正月用・お年玉付き年賀はがきの販売も始まった。こうなる今年も早いもので残すところ11月と20日あまりである。

今年の秋の全国火災予防運動が「119番の日」の今日9日から15日までの1週間、消すまでは、出ない行かない、離れない」を標語に実施される。ちょうどこの火災予防週間の頃から、吉岐でも木枯らしをイメージするよ

うな北寄りの冷たい季節風が強く吹いて、シケ模様の日が多くなりだし、空気が乾燥して火災が発生しやすい時期となる。その予防運動は、火災が発生しやすい季節を迎え、一人ひとりが火災予防に対する意識を持つことにより、火災による悲惨な事態や貴重な財産の損失を防ぎ、「火災に強い街づくり」を展開される。

最近久しぶりに乗用車から、火がついたタバコをポイ捨てしたドライバーを見かけた。歩行中に火がついたタバコをポイ捨てした人も見かけた。火災が発生することもあるので、止めてほしいものである。加えてたき火や野焼き

現したと報告、25年4月には組織の一元化を図ると述べ、受け入れ体制の強化に取り組み考えを示した。また出席者からは離島振興法延長による恩恵や市長が提唱する「6次産業化」への質問が出された。離島航路の運賃問題、さらにこの会議を受けて「吉岐市でも是非実現に努力しよう」と求める指摘もあった。活性化策の具現案も提起され、その中で地方の特色や良さについて「地元の人がもっと地元をよく知り、気付くことの大切さ」を強調する意見、博多などでの吉岐への航路案内の整備、街並みの保護・整備、さらには個人観光客の吉岐での移動手段(車)の確保を求める意見など多様且つ有意義な考えが示された。

こうした会議を通じて示された考えを今後、吉岐市の行政や関連団体が如何に本気で検討するかが問われることになる。

市関係者と全国吉岐人会会員
吉岐市活性化でサミット開催
東京吉岐雪州会会長 牧山康敏

吉岐市や県、各地区吉岐市関係者による「吉岐市活性化サミット」が10月27日、東京で開かれ、活発に意見交換した。このサミットは、吉岐市を活性化するにはどうすればいいかについて話し合うもので、平成21年から始めて今回が3回目(23年は休止)となる。東京吉岐雪州会総会時に併せて毎回実施。会議には白川博一吉岐市長、長嶋立身吉岐市観光協会会長、久村豊彦長崎県吉岐振興局長、幡針賢輔福岡吉岐の会会長、立石英隆関西吉岐の会会長、山内賢明東京吉岐雪州会名誉会長、牧山康敏同会長、坂井伸州同副会長、万谷正副幹事長の10人が参加した。

会義は牧山東京吉岐雪州会会長を議長に選出し、まず白川市長から吉岐の現状や課題について基調報告。市長は「離島振興法の10年延長が決まったが、これを如何に活用するかが問題」とした上で、重要離島に吉岐を組み入れることが必要と述べた。さらに、吉岐の光ファイバー網の整備は一段落し、交流人口の拡大や遠隔地医療、防災対策、勝本港の整備、企業誘致などへの取り組みも課題とした。久村振興局長は県の地域振興策の目玉である「がんばらんば地域」(1億円支援事業)政策候補地に今年度は吉岐が候補に残っていると、実現に意欲を見せた。長嶋観光協会会長は観光関連諸団体の一元化を

事業所名・職種	所在地	勤務時間	休日	賃金・時給	必要な免許・資格	年齢	備考
吉岐市役所・一般事務	郷	8:30~17:15	土日祝他	日給5,800	60歳以下、高卒以上、パソコン操作できる方、普通車免許(通勤用)、期間:1/7~1/31迄(月14日勤務)、就業場所:郷ノ浦庁舎、締切:12/14迄		
郷ノ浦漁業協同組合・定置網従業員	郷	4:00~12:00	日他	月給150,000~180,000	35歳以下(省令3号の4)、普通車免許(AT限定不可)、試用期間あり		
ヤマト運輸株・仕分作業員	郷	5:00~8:00	他	時給800~850	普通車免許(通勤用)、期間:12/20~12/31迄(年末短期アルバイト)、パート		
ヤマト運輸株・構内作業員	郷	10:00~18:00の間の5時間程度	他	時給700~750	普通車免許(通勤用)、期間:12月中旬頃~12/31迄(年末短期アルバイト)、パート		
(有)弦観光・介護職	石	07:00~16:00 08:30~17:30 011:00~20:00 016:00~10:00	他	月給130,000	普通車免許(AT可)、介護業務経験者優遇、*H25年4月新規オープン予定、採用予定日:H25年3/1、試用期間あり		
(有)弦観光・ケアマネージャー	石	07:00~16:00 08:30~17:30 011:00~20:00	他	月給250,000	介護支援専門員、普通車免許(AT可)、*H25年4月新規オープン予定、試用期間あり		

第56回 吉岐市美術展覧会実施要項

第56回吉岐市美術展覧会(略称 市展)

- 名称 吉岐市美術協会
- 主催 長崎県・長崎県文化団体協議会・吉岐市・吉岐市教育委員会・吉岐文化協会
- 後援 吉岐日々新聞社・吉岐新報社・吉岐新聞社・長崎新聞社・山本文房堂・新栄写真場・赤木写真館・長田写真館・スエナガ写真館・あつむるぶらざ(サイクス写真館)
- 協賛 吉岐市郷ノ浦町本村触445 TEL47-41111
- 会場 平成24年11月16日(金)~18日(日) 吉岐文化ホール
- 出展規定(一般公募)
 - 出品資格 吉岐市内居住者及び出身者(但し、中学生以下を除く)
 - 出品作品の部門及び規格 ①絵画の部(洋画・日本画・版画など) ②彫塑・工芸の部 ③彫塑(木彫・石彫・石膏像など) ④工芸・デザイン(窯芸・木工・金工・染色・ポスターなど) ⑤立体に制限はないが、ポスターなどは半切以上平面デザイン四切以上。額装・又は台紙をつける。 ⑥書の部(条幅・扁額) ⑦額装、又は台紙をつける。読み等を楷書で書いて作品の下に貼付する。⑧仕上げ寸法 90cm×240cm以内、縦横自由。
 - 写真の部(モノクロ・カラー) ④四つ切以上の大きさで、枠張り、額装とする。⑧写真写真は1点とみなす。(4枚以内の作品)
 - 出品作品の制限 ①最近作で未発表のものとし、盗作などは発表後でも取り消す。②中央展、団体展などの作品は参考出品とする。
 - 出品手数料 ④出品応募は1部門につき1人1点1000円、2点以上15000円、学生は5000円を申し込みと同時に納入のこと。⑤出品点数は1部門1人3点までとする。⑥出品料の払い戻しはしない。
 - 出品申し込みと搬入、受付 日時 平成24年11月13日(火)午後1時~5時 場所 吉岐文化ホール1階(102室)
 - 作品の展示及び搬出 ※搬入受理のとき出品証及び手数料受領証を渡す。 ⑥作品の展示を展示し、入賞者は会場及び新聞紙上で発表する。
 - 展示については委員で行い、出品者の異議申し立ては認めない。
 - 作品は11月18日(日)午後4時より会場でお返しする。当日は5時以後は会として撤去の責任はもてません。当
 - 作品の搬入に要する経費は全て出品者負担とする。
 - 不可抗力による作品の汚損、亡失等の責任は負わない。
 - 審査 平成24年11月15日(木)午前9時より展示及び審査会長が委嘱した審査員によって厳正な審査を行う。(各部門の審査員は公表する。)
 - 発表 入賞者の発表は個人連絡と新聞紙上発表。入賞者の発表は展示にかえる。
 - 表彰 ①入選作品中各部門に優秀作に次の賞を授与する。山口幹雄賞(特別賞) 県知事賞、市長賞、市教育委員会賞、各新聞社賞、文化協会賞、美術協会賞。
 - 授与式 11月18日(日)午後3時 展示場にて行う
- 授与式 11月15日(木)展示(9時)後、総会、会員の皆様は御出席の上、御協力をお願いします。

吉岐市美術協会事務局(市展事務局)
TEL・FAX(0970)43-0428
TEL 0970-5552 吉岐市勝本町百合畑触4900-1 品川哲範